

児童発達支援評価表 事業所における自己評価結果

		はい	どちらとも いえない	いいえ	保護者のご意見
環境・ 体制整備	①	1 2	1 4	7	水道がない、トイレが遠い、狭いなど保育室として適切でない部屋が多い。
	②	8	1 4	1 0	去年は欠員の補充がなかった。(育休2名療休1名)
	③	1 6	1 0	6	
業務改善	④	1 3	1 7	1	
	⑤	2 1	1 0		
	⑥	1 0	1 6	4	
	⑦	7	1 8	4	
	⑧	2 8	4		もっと積極的にやった方がよい。事業所の理解から研修をするとよい。
適切な支援の提供	⑨	2 7	5		
	⑩	2 2	1 0	1	
	⑪	2 4	8		

関係機関や保護者との連携	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2 6	4		
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2 6	3		
	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2 2	9		活動プログラムを個人にきちんと反映もしてほしい。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	2 3	8		活動がみんなと一緒になくてもよい。散歩などみんなでするのかどうか。目的をはっきりしたい。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2 6	4		
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	1 7	1 2	2	パート職員が多く、勤務時間も多様であるため、その日のうちの振り返りのや情報共有が難しい。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2 3	7		上と同じ理由だが、チーム間で検証する時間が欲しい。
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	2 7	4		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	2 1	1 0		きちんと必要な人の選別をしていくことが大切。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2 1	9		
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1 8	8		
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2 0	7		
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2 1	8		・相互かどうか。もっと意見を言える会議になると良い。 ・連絡先の担当者の考え方によって難しく感じることもあるため工夫して行きたい。
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	2 4	4		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修	2 4	5		

	を受けているか				
27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	27	4		
28	自立支援協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	20	10		
29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	29	1		
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	28	1		保育園保護者向け、小鳩園保護者向けに行っている。
31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	22	8		利用契約の際、重要事項説明をしている。
32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	22	8		
33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	29	1		療育指導以外にも必要に応じて懇談。
34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	18	11	1	・保護者同士の交流の機会を定期的に設けられると良い。 ・保護者参加型の懇談会にしたい。
35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	3		
36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	4		
37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	31			
38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	28	3		
39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	16	8	災害時など緊急時に近隣の方の応援をお願いできるよう考えていきたい。

40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1 1	2		職員が防犯、災害時のマニュアルの再確認が必要。
41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救助その他必要な訓練を行っているか	1 2	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難後の職員の動きも訓練が必要。物品持ち出し、子どもや保護者の所在確認など。</li> <li>・親子通の保護者の訓練参加のあり方。</li> </ul>
42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	1 1	2		・今後、避難訓練で対応を確認したい。
43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1 0	3		
44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	9	2	ヒヤリハットがあった時はその都度確認しているが、年に1回は事例をもとにヒヤリハット研修が必要。
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	4	3	・子ども相談室と連携し情報共有している。心配な家庭は保護者と子どもの観察を欠かさない。
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	7	4	